

3-21 捨てられる食器を活用した肥料「ボナース」 (ニッコー株式会社)

石川県白山市 2023年12月時点
産業廃棄物 粉状 県内
牛骨灰

○ ニッコー株式会社は、食をとりまく循環を作り出すことを目指し、牛の骨灰を原料とする規格外食器をリサイクルした肥料「ボナース」を製造。

国内資源の種類

規格外「ボーンチャイナ」
(原料：石、粘土、牛骨灰)

使用作物

・米、トウモロコシ、
キャベツ等野菜全般

保証成分量(%)、 特徴等

N	P	K	Ca
0	15.5	0	18

肥料の種類・肥料名称

・副産肥料(ボナース)



【ボナース】

取組の経緯・内容・成果(見込み)

取組の経緯

- ・ニッコー株式会社は、石川県白山市に本社を置く窯業を中心とするメーカー。
- ・世界的な環境意識の高まりを踏まえ、どうすれば貢献できるか社内でアイディアを募集し、2022年4月から牛の骨灰を原料とする食器「ボーンチャイナ」の規格外品を原料に肥料製造を開始。

取組の内容

- ・「ボーンチャイナ」はリン酸カルシウムの含有量が高く、リン酸肥料への再利用に有効と考え、規格外食器を肥料に加工(年間約12t)。

成果(見込み)

- ・自社で農場を借り試験栽培。耕種農家でボナースを利用した米「ボナース米」を生産。
- ・循環型農業に賛同する事業者等が参加し、持続可能な“食の未来”について考えるためのコミュニティ「BCC(ボナースサーキュラーコミュニティ)」を設立。
- ・循環型ビジネスであることが評価され、令和4年グッドデザイン賞、石川エコデザイン賞2023大賞を受賞。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者+肥料製造者

ニッコー株式会社

規格外食器
(ボーンチャイナ)

石、粘土、牛骨灰

肥料製造

副産肥料ボナース

肥料利用者

耕種農家
(東京都、千葉県、茨城県、
長野県、鹿児島県、宮崎県、
福井県、石川県等)

今後の課題・取組

- ◆販路拡大。
- ◆ホテルにて使用済みの食器を回収・肥料化し、ホテルと契約栽培する農家に肥料利用の実現に向け調整中。



【詳細はこちらから】

